

報道関係 各位

「継 灯 式」

新たな決意を胸に 看護学生がナイチンゲールの灯火を受け継ぐ

川崎医療短期大学 看護科 2 年生は、本格的な病院実習を前に、看護に携わる者としての責任の重さを自覚し、看護の道に進む決意を表明する「継灯式」を行います。

以前は、ナースキャップと学章を授ける「戴帽・授章式」を実施していましたが、平成 25 年に実習病院である川崎医科大学附属病院でナースキャップの着用が廃止されたことに伴い、平成 25 年 11 月からは、「継灯式」を行っています。

当日は看護科 2 年生 136 名、学長、教員、保護者、卒業生が出席予定です。

日 時 : 平成 30 年 11 月 10 日(土)10:00~11:20

会 場 : 川崎医療短期大学 校舎棟 2 階 200 号大講義室(倉敷市松島 316)

※ 取材をご希望の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

受け継がれる「継灯式」

かつては多くの看護師養成校で戴帽式が実施されていましたが、大学では戴帽式やそれに類似した式典を実施しているところはほとんどありませんでした。昨今ではナースキャップの廃止とともに戴帽式も廃止される傾向にあります。そのようななか、本学の「継灯式」は、戴帽式の雰囲気と精神を受け継いで執り行われています。



昨年の「継灯式」の様子

決意を新たに

式典では保護者・教員が見守るなか、学生たちはナイチンゲールの「看護の灯」をそれぞれのキャンドルに受け継いでいきます。そして、キャンドルの灯りのなかで「ナイチンゲール誓詞」を唱和し、看護の道に踏み出す「決意」を新たにします。さらに、学長からの祝辞や卒業生の先輩からの激励の言葉を心に刻み、川崎医療短期大学創立以来 46 年間受け継がれてきた看護科学生としての自覚と、看護師になることへの誇りと責任の自覚、さらにはこれから行われる病院実習に向けての意識を高めます。



学内の「看護の灯」の碑(ナイチンゲール像)に点灯された灯を受け取る。

幻想的な輝き

式典のなかでキャンドルの灯に浮かび上がる白衣の看護学生の姿は、厳粛かつ幻想的な雰囲気を醸し出します。看護を志す学生たちにとってこの式は憧れでもあり、これをひとつの目標として日々学習に取り組んでいる学生には、大変感動的な式典です。

<問合せ先>

川崎医療短期大学 事務部 庶務課
Tel 086-464-1032(代)